

低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019年 8月 8日

(提出先)
横浜市長

大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシス
住所 ビル2F

株式会社アースインフィニティ
氏名
代表取締役社長 濱田 幸一

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社アースインフィニティ 代表取締役社長 濱田 幸一	
主たる事業所の所在地	大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル2F	
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	1. 電力小売事業 2016年4月より供給開始 供給地域：北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州 一部離島地域除く 電源：発電事業者、JEPXより調達 2. 電子機器の製造、卸、販売 自社で特許を取得している電子プレーカーの製造、卸売、販売を手掛けています。動力電気の契約電力の見直しによる経費削減を実施しています。	
担当部署 連絡先	事業所名	株式会社アースインフィニティ
	部署名	第一営業部営業二課
	電話番号	06-4797-7522
	E-mail	earth-eigyout@earth-infinity.co.jp

2 対象年度

提出年度 (当年度)	2019年度
---------------	--------

3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

(1) 自社発電設備を持たないことから、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの調達割合を高めていきます。具体的には再生可能エネルギー、未利用エネルギー（廃棄物発電等）の電源構成割合が高い発電事業者からの調達を一定量確保致します。 (2) 事業活動に伴う取り組みとして、節電が排出削減に繋がることから、昼休みや休憩時間等は消灯し、夏の冷房需要期にはクールビズを採用することで節電に努めています。 ・自動車からの温室効果ガス削減のため、社用車の利用を減らし公共交通機関を利用していきます。

4 推進体制

第1営業部がグリーン電力証書の定期購入、二酸化炭素排出係数の低い発電事業者からの電源開発及び調達をおこなう。

5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	<p>自社ホームページにて公表しております。 https://www.earth-infinity.co.jp/corporation/dengenkousei.html</p>

7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

需要家個別の会員ページにて使用電力量を確認。
 電気の使い方、使用量を意識してもらい省エネ、節電の啓発につなげています。
 低圧需要家向けに時間帯別料金プランを検討中。目的として需要家のピークシフト、単価の高い時間帯での節電を促します。

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可 <input type="radio"/> 一部対応可
	備考	

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	2017年度	2018年度	2019年度	2023年度
	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	実績値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]	計画値 [kg-CO ₂ /kWh]
基礎排出係数	0.532	0.533	0.536	0.480
把握率 (%)	100	100	—	—
調整後排出係数	0.524	0.526	0.512	0.450
メニュー別排出係数				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	顧客数の増加による市場調達増加による排出係数の上昇			
排出係数の抑制措置のための取組	排出係数の低い発電事業者からの調達を一定量確保します。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	2017年度	2018年度	2019年度
	実績値 [t-CO ₂]	実績値 [t-CO ₂]	計画値 [t-CO ₂]
全国総量	40797	62449	60532
市内	86	148	143

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	2017年度		2018年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)	84910	—	129224	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)	2434.1	2.87	2434.1	1.88
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
再生可能エネルギー (FIT電気)	4057.4	4.78	9369	7.25
太陽光				
風力				
水力				
その他 ()				
未利用エネルギー	4233.6	4.99	731	0.57

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	2017年度		2018年度	
	実績値 [t-CO ₂]		実績値 [t-CO ₂]	
削減相当量		0		0

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

再生可能エネルギーの発電比率の高い発電事業者からの調達を進めます。
一定量のグリーン電力証書の購入を行います。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

電話応対業務にあたる自社社員が節電の案内が出来るよう教育を行います。
需要家へ会員ページによる電気使用量の見える化を行っており、電力使用量を把握していただくための情報ならびに省エネするための手段を積極的に提供、啓発しております。